

ご妊娠おめでとうございます



当院の基本方針

- 母子ともに安全な出産をすること
- 妊婦さんに安心感・快適さを与え、分娩経過を正確に伝えること
- 母体および胎児に対して適切な評価を行い、異常に対して適切かつ迅速な対応をとること
- ご主人およびご家族の分娩支援をサポートすること

さいたま市立病院産婦人科

母子健康手帳はいつもらうの？

超音波検査で胎児心拍を確認後、保健センター（妊娠・出産包括支援センター）でもらいます。



母子健康手帳をもらったら

初期血液検査・血液型・血糖・感染症検査・不規則抗体・子宮頸がん検査・クラミジア検査を行います。

超音波検査は？

初期には：正常妊娠かどうか、胎児心拍の確認、子宮筋腫や卵巣のう腫などの有無について調べるために行います。また、胎児の大きさから予定日を修正したりすることがあります。

中期以降：妊娠20・28・34週前後に胎児発育や異常の有無について、また、胎盤の位置などについて調べます。それ以外にも医師の判断で必要時行います。



妊娠健診は？

20週以降には、

尿検査（尿蛋白・尿糖）
血圧検査
体重測定

毎回行います。

血液検査：貧血検査を24・30・36週頃に行います。

妊娠性糖尿病検査：24～28週頃に行います。糖水を飲んで、1時間後の血糖値を調べます。結果によっては、後日精密検査を行います。

胎児心拍モニタリング：胎児の元気さやお腹のはりがないかどうかチェックします。37週以降随時行います。

膣分泌物培養検査：35～37週に膣内細菌の有無を調べます。



妊娠中の指導について

保健指導室で、妊娠中の個別指導を行っております。ご利用ください。
なお、母親学級・安産教室も行っておりますが、詳しくは、
集団初期指導でご説明いたします。

妊娠から分娩・産後までのさまざまな情報は、外来で
お渡しする「**保健指導テキスト**」に記載しております。
ご活用ください。

当院は、母乳育児を推進しております。そのための
指導に力を注いでおります。



流行性ウイルス疾患について

風疹・麻疹・流行性耳下腺炎・水痘にかかった方と接した場合は、産婦人科
外来にご相談ください。

また、外来受診時に発熱・発疹などの感染症状がある場合はあらかじめお申し
出ください。

分娩予約・入院の手続きについて

分娩予約は、初診時に行います。また、**入院の手続き**は、
妊娠34週頃の外来受診時に行います。入院中の詳しい生活
については、その時にお渡しする「入院のご案内」をご覧
ください。



入院費用について

入退院室にご相談ください。



当院で行われる検査・処置について

妊娠おめでとうございます。当院で受けることのできる検査と分娩時の処置について、お知らせいたします。

クワトロ検査

*対象の疾患 ダウン症候群（21トリソミー）、18トリソミー、開放性神経管奇形

母親の血液を採血し、胎児が対象の疾患*に罹患している確率を算出するスクリーニング検査です。時期は、妊娠15～17週頃までに受けることが望ましいです。

結果は、10日～2週間ほどかかります。スクリーニング陽性の場合は、確定診断のために羊水検査を受けることも可能です。



羊水検査

お子さんの染色体検査を目的として羊水検査を受けることが可能です。

希望される方は、あらかじめ担当医にご相談ください。

分娩監視装置とは？

陣痛の間隔や胎児の心拍を経時的に観察するために適宜行います。



骨盤レントゲン(ガットマン法)

骨盤の大きさや形、また胎児の回旋をみるために行います。

クリステル胎児圧出法

出産直前（子宮口が完全に開いた後）に、赤ちゃんの心音が低下し、速やかに分娩しなければならない場合や、母体疲労などでいきみが弱く、分娩が遷延する場合があります。

そのような時に、お母さんのおなかを押して赤ちゃんの娩出を助けることがあります。



吸引分娩

クリステル胎児圧出法と同じ理由で、赤ちゃんを早く娩出させる必要がある場合、赤ちゃんの頭に吸引カップを装着し、陰圧をかけて牽引して娩出させることがあります。これを吸引分娩といいます。



会陰切開とは？

赤ちゃんの娩出をスムーズにさせるため、また高度の裂傷を予防するために、状況に応じて会陰切開を行います。

切開直前には、局所麻酔を行います。



陣痛誘発・促進剤の使用

分娩は、できる限り自然に安全に終了することが理想です。

しかしながら、何もせずに経過観察しているだけでは、母子の生命・安全性が損なわれる恐れがあると判断された場合には、お薬を使用して分娩の誘発や促進を行う場合があります。

帝王切開について

分娩の経過中、経膈分娩が困難または母児の安全のためにすみやかに出産することが必要と判断された場合には、帝王切開による分娩を選択することがあります。



帝王切開のための検査

帝王切開分娩となることが予測される場合、妊娠経過中にあらかじめ手術に備えて必要な検査（血液検査、胸部レントゲン、心電図）を行うことがあります。

以上の処置は医師または助産師の十分な説明のもとに行うことを心がけておりますが、しかしながら、分娩時に突発的かつ予告なしに異常が起こることがあり、十分な説明のための時間的余裕もなく、緊急処置を必要とする場合があることをご了承ください。

私たちは、皆様が安心して健やかに出産まで過ごされ、元気なお子さんをお産みになるようお手伝いさせていただきたいと思っております。ご質問がございましたら、遠慮なく担当医師・助産師にお尋ねください。

さいたま市立病院産婦人科(周産期母子医療センター)

次回外来予約は？

お会計領収書に次回外来予約表がついてきます。予約日をご確認ください。

なお、受診時は受付票（窓口提出用）・診察券・母子健康手帳（妊娠 20 週以降）を産婦人科外来受付にお出してください。



緊急時の連絡先

電話番号 048-873-4111

**平日：8 時 30 分～17 時まで／産婦人科外来
夜間（17 時～翌朝 8 時 30 分）・休日／救急外来**

※出血・下腹痛などの症状がある場合は、病院までご連絡ください。その際には、妊娠週数をお伝えください。



妊娠および分娩に関する情報について

当院では、皆様の妊娠分娩に関する情報の一部を、今後のよりよい周産期管理に役立てるための集計分析を行ったり、学術集会や学術雑誌などで報告させていただくことがございます。

この場合でも、皆様のお名前や個人を特定する内容は含まれておりません。皆様とお子さんの健康を守り、よりよい周産期管理を行うために、ご了承ください。

ただし、もしご了承くださいけない場合でも診療内容には何も影響しないことを申し添えておきます。

研修指定病院について

当院は、研修医および看護学生の研修指定病院になっておりますので、ご協力とご理解をお願いいたします。